

第37週(9月12日～9月18日)の集計結果

コメント

【今週の傾向】

○RSウイルス感染症は、定点あたり2.5人で、先週(定点あたり1.7人)から増加しています。東京都でも同様の傾向です。8割が2歳未満です。

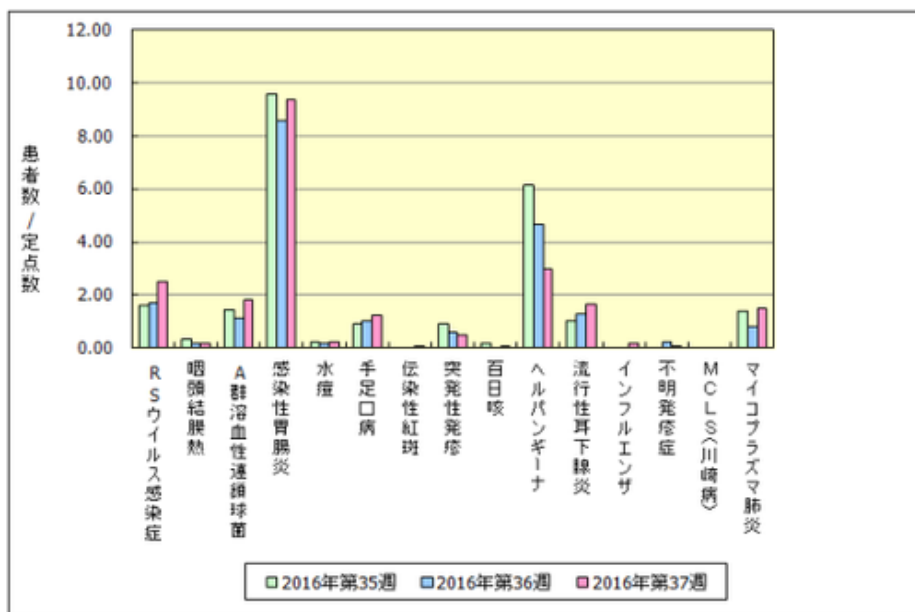
○感染性胃腸炎は、定点あたり9.4人で、先週(定点あたり8.6人)に比べ増加しています。

○ヘルパンギーナと流行性耳下腺炎は、都の定点あたり報告数より高い値です。

○マイコプラズマ肺炎は、八王子市の昨年の報告数より高い値が続いています。

○インフルエンザの流行シーズンに入りましたので、感染予防を心がけましょう。

○いずれの疾患も、感染の予防、まん延の防止のために、咳エチケット及び手洗い、排泄物・吐物の適切な取り扱い(消毒)等を引き続き確認しましょう。



第37週疾患毎発生状況グラフ

	2016年 第32週	2016年 第33週	2016年 第34週	2016年 第35週	2016年 第36週	2016年 第37週	第1週から の合計
RSウイルス感染症	0↓	1↑	11↑	21↑	24↑	35↑	171
咽頭結膜熱	4↓	3↓	1↓	4↑	2↓	2→	323
A群溶血性連鎖球菌	12↓	7↓	14↑	19↑	16↓	25↑	1319
感染性胃腸炎	59↓	99↑	98↓	125↑	120↓	131↑	4884
水痘	10↑	5↓	4↓	3↓	2↓	3↑	227
手足口病	11↓	8↓	25↑	12↓	14↑	17↑	196
伝染性紅斑	1↓	1→	2↑	0↓	0→	1↑	133
突発性発疹	2↓	5↑	6↑	12↑	8↓	7↓	269
百日咳	1↓	0↓	0→	2↑	0↓	1↑	34
ヘルパンギーナ	64↓	42↓	67↑	80↑	65↓	42↓	861
流行性耳下腺炎	36↑	37↑	31↓	13↓	18↑	23↑	760
インフルエンザ	0→	0→	0→	0→	0→	2↑	6932
不明発疹症	0↓	1↑	1→	0↓	3↑	1↓	68
MCLS(川崎病)	0→	0→	0→	0→	0→	0→	4
マイコプラズマ肺炎	14↓	19↑	12↓	18↑	11↓	21↑	442

第37週疾患毎発生状況表

第37週	RSウイルス	咽頭結膜熱	連鎖球菌	A群溶血性	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	インフルエンザ	不明発疹症	(川崎病)MCLS	マイコプラズマ肺炎
～5ヶ月	2	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
～11ヶ月	9	0	0	10	0	4	0	4	0	8	0	0	0	0	0	0
1歳	18	0	1	16	0	7	0	3	0	8	1	0	1	0	0	0
2歳	3	1	2	15	0	1	0	0	0	3	1	0	0	0	0	1
3歳	2	0	6	15	0	0	0	0	0	4	3	0	0	0	0	0
4歳	0	1	3	13	1	2	0	0	0	6	0	0	0	0	0	6
5歳	1	0	3	9	0	2	0	0	0	2	1	0	0	0	0	3
6歳	0	0	4	11	1	1	0	0	0	5	6	0	0	0	0	1
7歳	0	0	1	7	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0
8歳	0	0	1	6	1	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0
9歳	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2
10～14歳	0	0	2	12	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	6
10～12歳												0				
13～14歳												2				
15～19歳	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0
20歳以上	0	0	1	12	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
合計	35	2	25	131	3	17	1	7	1	42	23	2	1	0	0	21

第37週年齢別発生状況表